

総合的な支援内容（5領域）

■健康・生活

【健康状態の把握】

小さなサインでも異変に気づけるようにきめ細かい観察をし、本人が伝えることができるように言語化指導します。

【登降所時に身辺処理】

靴の着脱、荷物の整理などの習慣化。衣服調節や身の回りを清潔にできるなど生活の基本的技能を習得します。

【お弁当・おやつ時間で食育】

口腔内機能や感覚確認、手指の運動機能を確認しながら姿勢保持や自助具などの使うことができるよう指導します。（運動・感覚）（認知・行動）

【決まった時間での学習・活動】

場面での気持ちの切り替えを含め、片付けなどの習慣化できるようにします。

【呼吸法で健康維持】

心身共に健康維持ができるように支援します。（運動・感覚）

■運動・感覚

【姿勢保持のための体幹形成】

日常生活に必要な動作や基本となる姿勢維持のため、運動機能の観察を行い、個別に支援します。（健康）

呼吸法やラジオ体操、身体を使う遊びなどを提供し、身体機能の維持向上を図ります。また基本的な動作の根本となる体幹形成に努め、「じっとしている」を実現できるように支援します。

【集団活動や制作活動で支援】

視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用できるような制作や四季を感じるような課外活動、ボードゲームなどの遊びなど様々な体験をし、感覚の成長を支援します。（認知・行動）

【感覚特性への対応】

感覚の過敏や鈍麻を観察し、感覚の偏りに対する本人の困りを把握し、環境調整等を行います。（認知・行動）

■認知・行動

【空間・時間・数等の概念形成】

五感を活用し、具体的な対象物を使いながら、それぞれの特性に合った「わかる」方法を見つけ、認知機能の発達を促し、実際に行動がとれるよう支援します。

【集団活動や制作活動で支援】

手順を視覚化し、目で見て理解し、実際に行動がとれるように支援します。話を聞く姿勢が出来たところからはじめ、頑張ってみようと思う関わりをし、出来た時は十分にほめ次に繋げます。

【ミスを受け入れる力、修正力】

課題に向かう姿勢を支援します。「頑張ってたよかった」という経験を作り繰り返し行う力をつけるます。他者の意見や情報を適切に処理し、自ら選択できるように繰り返し指導していきます。

■言語・コミュニケーション

【学習時間を通して習得する様々な力】

読み書きの能力向上、語彙力、読解力、音読力は学習の中でも習得しますが、指導員とのやり取りを通して質問することができたり、伝える力がつくような会話をしていきます。

【集団活動や制作活動にでの支援】

指導員の指示を正しく理解できるように指示や制作の手順などを言葉や視覚ツールなどを用いて自分にあったコミュニケーションツールを一緒に見つけていきます。

【気持ちの代弁経験を通し、自分の気持ちを伝える力】

暴力や暴言に対しても根本の問題を見つけ、社会的に認められる言動を一緒に考え、習得できるよう支援します。

【様々なコミュニケーション手段の活用と習得】

難聴児の受け入れもしています。手話や筆談、ジェスチャーなどのコミュニケーションも多く活用します。

■人間関係・社会性

【挨拶の徹底】

「ただいま」「こんにちは」「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」の挨拶は徹底してお話をします。また同時に大人に対しての言葉遣いなども修正しながら会話をしていきます。

【集団活動や制作活動を通して手順やルールの理解】

ルール、マナーを楽しむ中で身につけ、協調性や他者との関わり方がわかるように指導員と一緒に楽しみます。個別活動から集団活動への移行を目指す中で起こるトラブルも一緒に考え、気持ちを代弁しながら相互理解ができるように支援していきます。（言語・コミュニケーション）（認知・行動）

【友達と遊ぶ時間】

自由な時間も確保し、身につけた力を確認していきます。（全領域）

5領域に基づく具体的な1日の流れ

■来所時

- ・指導員・児発管の送迎で会話する 【①・④】
学校での様子、本人の異変に気付く
- ・来所時は「ただいま」の挨拶の徹底 【⑤】
- ・靴を下駄箱に片付ける 【①・⑤】
- ・自分の荷物は自分で持つ 【①・②・④・⑤】
自己管理することで忘れ物や紛失を減らす

■おやつ（学校休業日はお弁当の時間も含む）

- ・様々な種類のおやつを提供 【①・②】
味・大きさ・硬さを変え、口腔機能、味覚、触覚を観察
- ・鉛や一口サイズのおやつは目隠しボックス 【②】
手指の感覚だけでほしいものを選ぶ
- ・適量、偏食、咀嚼の仕方、箸の使い方など声かけ 【①・②】
体型や生活、口腔機能や感覚などを考慮し指導
- ・食べ終わった後の汚れの確認 【①・③・④】

■呼吸の時間（学校休業日はラジオ体操）

- ・呼吸法（胸式、腹式、胸式+腹式呼吸） 【①・②・③】
体幹形成、血流改善、姿勢改善、体力維持、精神安定など
トレーナー資格を持つ児発管がそれぞれの課題に合わせた指示

■自由な時間

- ・自分の好きな遊びをしい時間 【①・②・③・④・⑤】
今までの活動の中で身についたもの、本人の興味関心、誰と誰が
気が合うのか…など現状をみる時間
子ども同士のトラブルも大切な経験であり、指導員は「過度に」
入らずサポート

■帰る時

- ・順番にトイレに行き、帰る準備をする 【①・③・⑤】
スイッチの切り替える
- ・忘れ物がないか確認する 【①・③・⑤】
- ・立って靴を履くことができるようになる 【①・②】

■学習時間

- ・学校からの決まった学習 【③・④・⑤】
指示が理解できているか、学習内容は理解できているかなど確認
学習内容を教える目的ではなく、わかるための方法を一緒に探す
- ・指導員とのやりとり 【③・④・⑤】
質問や「わかりません」「教えてください」などの意思表示に繋げる
- ・姿勢の維持、集中できる環境を知る 【①・②・③】
4人掛けのテーブル席、壁際の席、座卓は固定席ではないので変動
その日の状況や状態などから理解し座ることができる
- ・力加減、本人にあった文具を提案 【②・③】
輪ゴムやクリップを用いた鉛筆の持ち方指導、力加減の指導
本人の特性に合った文具（マスの大きさ、消しゴムの硬さなど）提案
本人の学習意欲を向上させるための環境を整える

■集団活動（制作活動を含む）

- ・ボードゲームや手作りのゲームなどを活用 【②・③・④・⑤】
数、言葉、漢字、表情、記憶などに有効な遊び、公園などで鬼ごっこ、
大縄跳び、遊具など身体を使った遊び、手作りの輪投げ、ツイスター、
指カーリングなどを活用し、個別活動から集団活動への移行を促す
- ・制作活動 【②・③・④・⑤】
何日かをかけて、ひとつのものを作りあげる
集団でひとつのものを作りあげる
巨大クリスマスツリー、うさぎのぬいぐるみ（干支）のように季節行
事を考えて制作物を課題とする
- ・アートセラピー 【①・②・③・④・⑤】
年に数回、風景描画法、ちぎり絵など講師資格を持つ児発管主導で実
施、隠れている気持ちの理解に繋げる

■課外活動（学校休業日など）

- ・四季を感じるための活動 【②・③・⑤】
桜の花見、つくし取り、ひまわり畑、紅葉、どんぐり拾い、雪遊び
- ・自立を促すための活動 【①・③・⑤】
調理体験、お買い物体験、岐阜駅探検
- ・地域の子と交流、公園での交流 【①・②・③・④・⑤】
- ・イベントの参加 【①・②・③・④・⑤】
モルック体験、作品展への参加（作品出展、鑑賞）など